

事業名	平成28年度防災キャンプ
開催日	平成28年9月10日(土)～11日(日)
開催場所	ネイパル厚岸

○ 趣 旨 太平洋沿岸部を震源とする巨大地震発生時における、適切な避難行動や地域における防災意識の向上とボランティアリーダーの養成を図る。

○ 主 催 北海道立青少年体験活動支援施設 ネイパル厚岸／厚岸町教育委員会

○ 参加者 小学生33名、中学生4名、ボランティア4名

○ 内 容

今年の防災キャンプは、避難所体験により普段の生活との違いや助け合いの大切さを学ぼうという目的のもとスタートしました。参加した児童生徒は、ネイパル厚岸に避難し、ライフラインがすべて止まっているという設定で一泊二日を過ごしました。

まず1日目は、段ボールで壁をつくり自分のスペースを確保することから始まり、給水体験（ポリタンクに水を入れ運搬）や炊き出し練習、入浴時には水なしシャンプーを体験した児童もいました。普段の生活では出来ない体験をして大変そうではありましたが、周りとは協力して活動をしていました。

2日目は、中標津町役場の徳永さん、上田さんを講師に招きHUG（避難所運営ゲーム）をしました。

HUGとは、避難者の性別などの情報が書かれているカードを、避難所の平面図にどれだけ適切に置けるか、そして避難所で起こる様々なことにどのように対応するかを模擬体験するゲームです。

いざゲームが始まると、子どもたちは身を乗り出して参加しており、集中してゲームに取り組んでいました。講師の上田さんから「実際に避難所を運営する立場になることはないかもしれませんが、今回の経験を活かして、自分が出来るお手伝いを見つけ行動してくれたらなと思います。」との言葉を貰いました。

活動中、子どもたちから「電気があればなあ・・・」「欲しい物が届かないよ！」「節水しなきゃ！」との声が聞こえ、避難所生活に困惑しながらも、最後には「またやりたい！！」「楽しかった」と話しており、大きな学びになったようです。



↑ オリエンテーション



↑ 給水体験



↑ 段ボールルームづくり

	時間	活動内容
1日目	13:30	開会式
	13:50	事前学習 ●災害の写真や動画をみて勉強 ●オリエンテーション
	14:20	避難所準備 ●段ボールでのスペースづくり ●給水体験 など
	16:00	炊き出し練習（夕食） ●メニュー：カレー
	20:30～ 21:30	入浴・就寝準備
	22:00	就寝
2日目	6:30	起床
	6:45	昨日のふりかえり
	7:00	朝食準備・朝食 ●メニュー：アルファ米・乾パン・ポタージュスープ
		避難所片付け
	9:00	HUG（避難所運営ゲーム）
	11:15	アンケート記入
	11:25	閉会式



↑ 炊き出し練習（カレー作り） ↑



↑ ふりかえり

↑ 朝食づくり



← H U G →

